

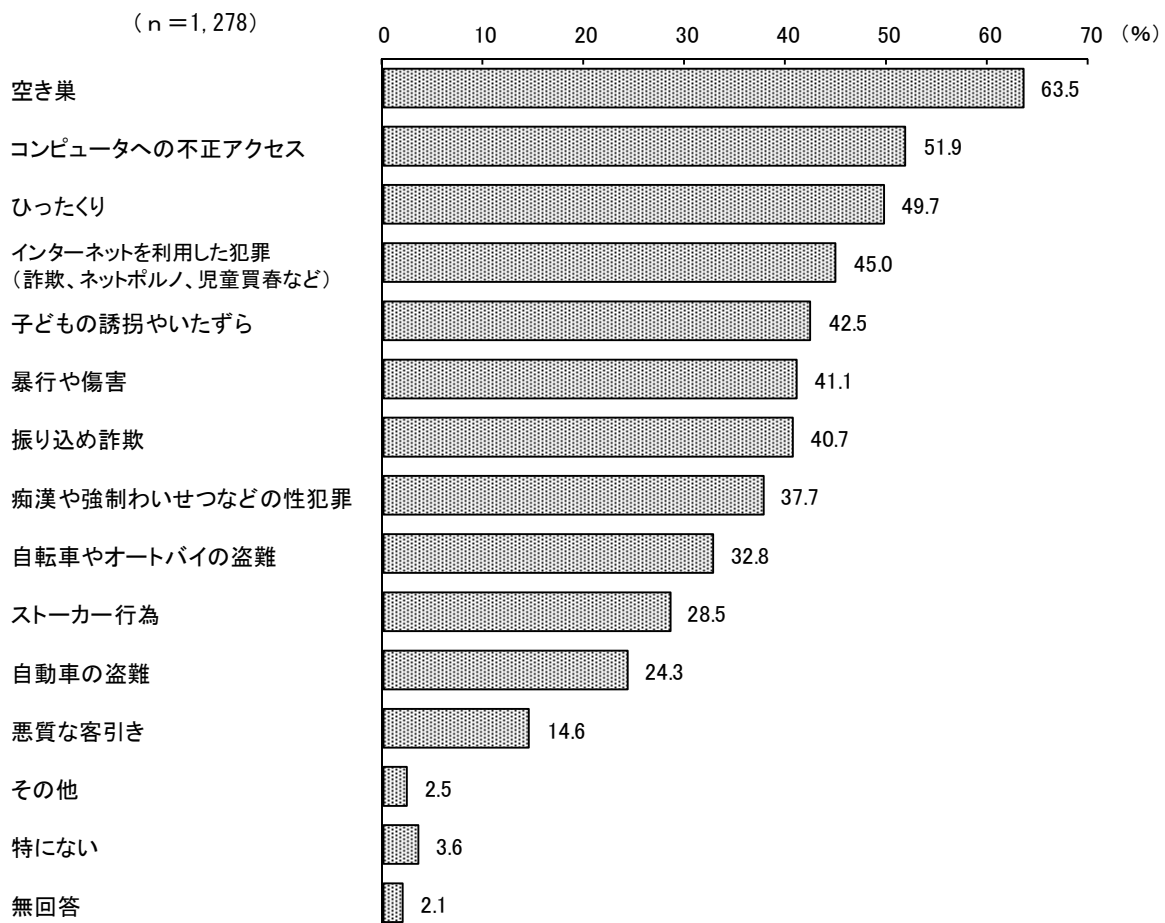
## 第18章 治安対策【問78～問84】

### 1 不安を感じる犯罪【問78】

#### 【全体の状況】

身近で発生する可能性がある犯罪のうち、不安を感じるものを複数回答で尋ねたところ、「空き巣」(63.5%)が6割台で最も多く、「コンピュータへの不正アクセス」(51.9%)と「ひったくり」(49.7%)が続いた。(図表18-1-1)

図表18-1-1 不安を感じる犯罪（複数回答）



#### 【地域別の状況】

地域別にみると、「空き巣」は、相模原 (72.2%) が7割台で最も多かった。「ひったくり」は、県央 (57.7%) と横浜 (54.8%) がともに5割台で多かった。また、「痴漢や強制わいせつなどの性犯罪」は、県央 (44.1%) が4割台で最も多かった。(図表18-1-2)

【性・年代別の状況】

性別にみると、「痴漢や強制わいせつなどの性犯罪」は、女性（46.7%）が男性（28.2%）を18.5ポイント上回った。「ひったくり」は、女性（57.8%）が男性（40.0%）を17.8ポイント上回った。

性・年代別にみると、「空き巣」は、女性の40歳代（78.0%）・70～74歳（75.5%）がともに7割台で多かった。（図表18-1-2）

図表18-1-2 不安に感じる犯罪（複数回答）－地域別、性・年代別

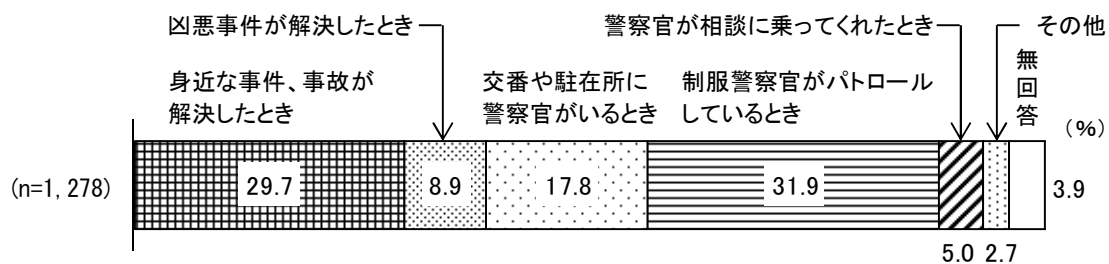
		(%)															
n		空き巣	コンピュータへの不正アクセス	ひったくり	インターネットを利用した罪 (詐欺、ネットポルノ、児童買春など)	子どもの誘拐やいたずら	暴行や傷害	振り込め詐欺	痴漢や強制わいせつなどの性犯罪	自転車やオートバイの盗難	ストーカー行為	自動車の盗難	悪質な客引き	その他	特にない	無回答	
全	体	1,278	63.5	51.9	49.7	45.0	42.5	41.1	40.7	37.7	32.8	28.5	24.3	14.6	2.5	3.6	2.1
【地域別】																	
横	浜	482	67.0	54.4	54.8	46.5	41.5	44.4	38.0	38.4	31.3	29.3	21.8	14.5	2.5	3.5	1.0
川	崎	179	55.3	57.0	46.9	45.8	48.6	44.7	40.2	39.7	30.7	30.7	22.9	14.5	4.5	3.4	1.1
相	模	90	72.2	44.4	46.7	40.0	43.3	45.6	42.2	35.6	46.7	31.1	35.6	15.6	2.2	-	1.1
横	須賀三浦	115	63.5	50.4	46.1	46.1	42.6	34.8	45.2	39.1	28.7	26.1	16.5	16.5	2.6	6.1	3.5
県	央	111	65.8	48.6	57.7	42.3	38.7	38.7	44.1	44.1	36.9	27.0	32.4	22.5	2.7	3.6	-
湘	南	186	64.0	52.2	47.3	50.0	44.1	37.6	44.1	37.6	33.9	29.0	27.4	11.8	1.1	3.2	3.8
県	西	54	57.4	44.4	38.9	25.9	37.0	37.0	40.7	29.6	31.5	29.6	16.7	11.1	1.9	3.7	3.7
【性・年代別】																	
男	性	563	60.0	52.0	40.0	42.3	36.6	44.4	39.6	28.2	35.5	20.8	28.1	16.7	3.2	4.8	2.0
女	性	675	67.1	52.6	57.8	47.3	49.2	38.5	41.3	46.7	31.0	35.3	21.5	12.9	1.9	2.5	1.3
男性	18～19歳	3	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-
	20歳代	31	35.5	48.4	22.6	51.6	29.0	41.9	29.0	35.5	32.3	16.1	19.4	22.6	6.5	9.7	-
	30歳代	76	56.6	60.5	38.2	48.7	55.3	40.8	25.0	28.9	40.8	15.8	25.0	14.5	6.6	3.9	-
	40歳代	118	65.3	61.0	41.5	50.0	57.6	50.8	29.7	38.1	43.2	28.8	42.4	26.3	2.5	2.5	-
	50歳代	104	66.3	57.7	40.4	49.0	32.7	53.8	42.3	26.0	35.6	27.9	33.7	14.4	2.9	1.9	-
	60歳代	134	56.7	47.0	40.3	37.3	23.9	42.5	50.0	26.9	32.8	15.7	21.6	11.2	3.0	6.7	2.2
	70～74歳	51	66.7	51.0	47.1	33.3	23.5	45.1	60.8	21.6	35.3	19.6	27.5	17.6	-	3.9	5.9
	75歳以上	45	60.0	22.2	42.2	13.3	20.0	20.0	40.0	13.3	17.8	11.1	11.1	13.3	2.2	11.1	11.1
女性	18～19歳	1	-	100.0	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	52	48.1	57.7	42.3	51.9	46.2	34.6	15.4	71.2	23.1	53.8	11.5	19.2	-	3.8	-
	30歳代	117	59.8	52.1	48.7	53.8	77.8	46.2	27.4	59.8	27.4	41.9	21.4	9.4	0.9	0.9	2.6
	40歳代	177	78.0	65.5	61.6	58.2	60.5	40.7	35.6	51.4	38.4	38.4	27.7	11.3	1.1	0.6	-
	50歳代	120	67.5	63.3	64.2	55.0	35.8	43.3	40.8	47.5	39.2	39.2	26.7	12.5	6.7	0.8	1.7
	60歳代	108	63.9	46.3	59.3	38.9	37.0	36.1	57.4	32.4	28.7	25.0	15.7	13.9	-	3.7	0.9
	70～74歳	49	75.5	24.5	63.3	22.4	32.7	20.4	63.3	30.6	28.6	20.4	24.5	16.3	2.0	6.1	4.1
	75歳以上	51	64.7	17.6	56.9	13.7	21.6	29.4	64.7	19.6	9.8	17.6	7.8	15.7	2.0	9.8	2.0

## 2 身近な治安に関して最も安心感を抱くとき【問79】

### 【全体の状況】

身近な治安に関して、最も安心感を抱くときはどのようなときか尋ねたところ、「制服警察官がパトロールしているとき」(31.9%) が約3割で最も多く、次いで「身近な事件、事故が解決したとき」(29.7%) が多かった。(図表18-2-1)

図表18-2-1 身近な治安に関して最も安心感を抱くとき



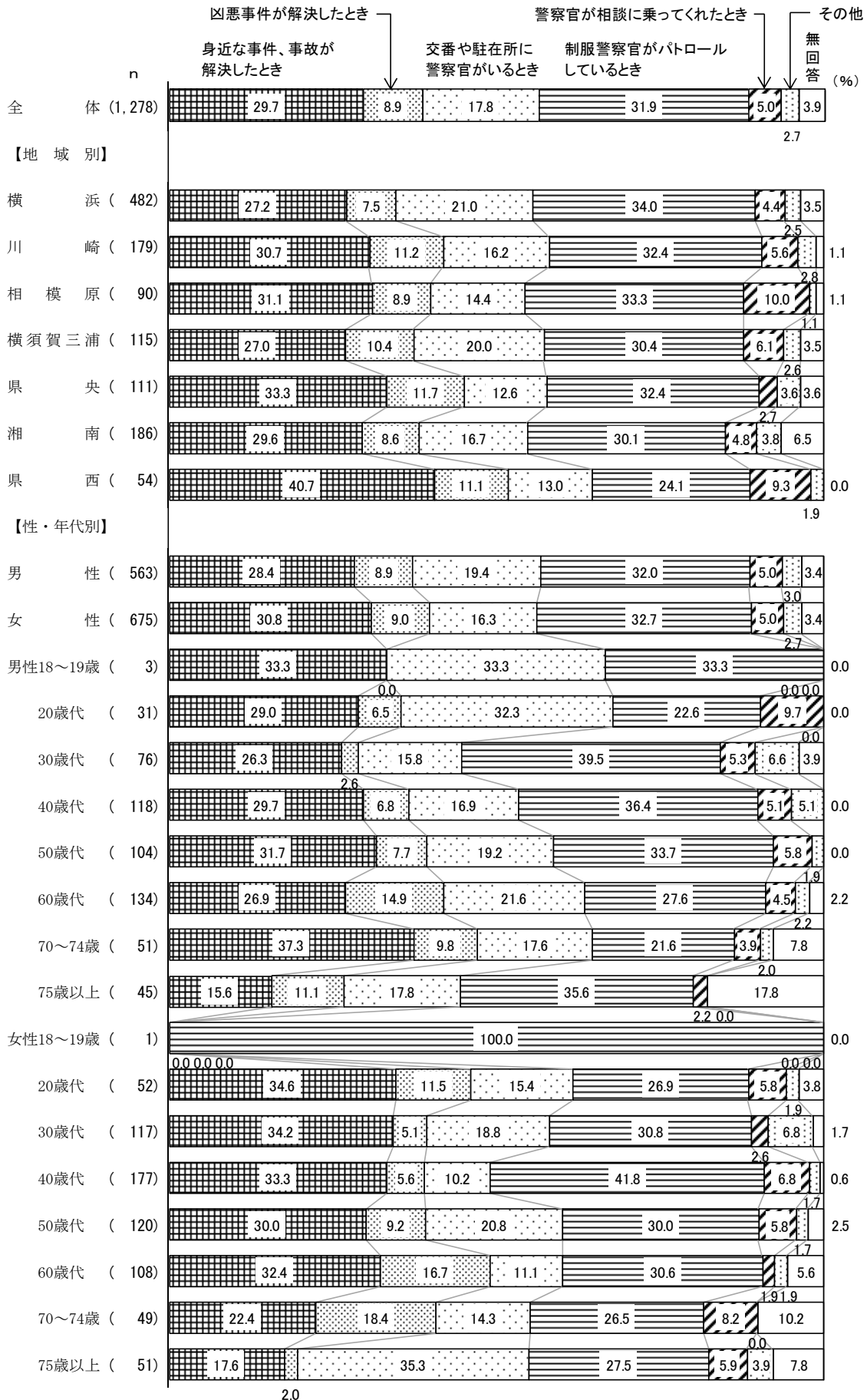
### 【地域別の状況】

地域別にみると、「制服警察官がパトロールしているとき」は県西(24.1%)を除く6地域(30.1%~34.0%)が3割を超えて多かった。また、「身近な事件、事故が解決したとき」は、県西(40.7%)が約4割で最も多かった。(図表18-2-2)

### 【性・年代別の状況】

性・年代別にみると、「制服警察官がパトロールしているとき」は、サンプル数の少ない男女の18~19歳を除くと、女性の40歳代(41.8%)が約4割で最も多く、次いで男性の30歳代(39.5%)が多かった。また、「交番や駐在所に警察官がいるとき」は、サンプル数の少ない男女の18~19歳を除くと、男性の20歳代(32.3%)と女性の75歳以上(35.3%)がともに3割台であった。(図表18-2-2)

図表18-2-2 身近な治安に関して最も安心感を抱くとき—地域別、性・年代別

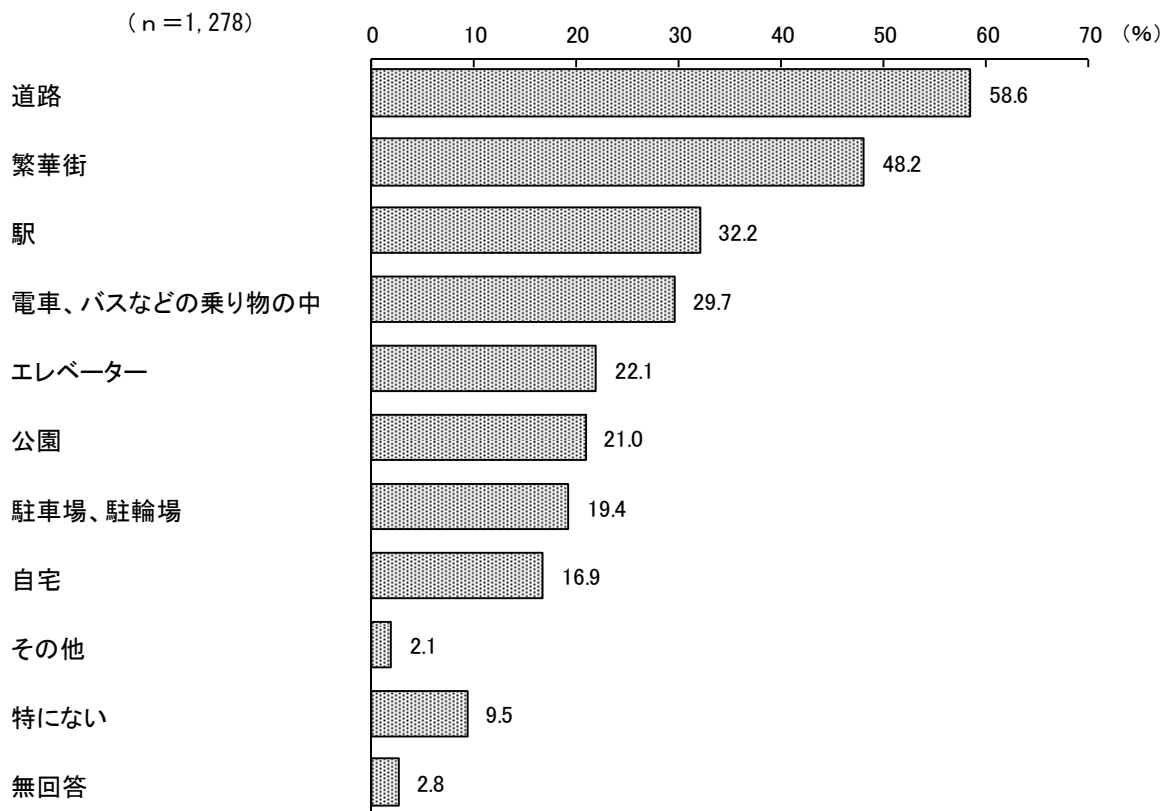


### 3 犯罪被害の不安を感じる場所【問80】

#### 【全体の状況】

犯罪の被害にあうかもしれないと不安を感じる場所はどこか複数回答で尋ねたところ、「道路」(58.6%)が約6割で最も多く、次いで「繁華街」(48.2%)が約5割であった。(図表18-2-1)

図表18-3-1 犯罪被害の不安を感じる場所（複数回答）



#### 【地域別の状況】

地域別にみると、「道路」は、相模原(66.7%)、県央(64.9%)、川崎(62.6%)がそれぞれ6割台で多かった。「繁華街」は、横浜(53.3%)と川崎(52.0%)がともに5割台で多かった。また、「駐車場、駐輪場」は、相模原(28.9%)が約3割で最も多かった。(図表18-3-2)

#### 【性・年代別の状況】

性別にみると、「エレベーター」は、女性(32.0%)が男性(11.2%)を20.8ポイント大きく上回った。

性・年代別にみると、「道路」は、女性の30歳代(71.8%)が約7割で最も多く、女性の40歳代(68.4%)と50歳代(68.3%)が続いた。また、「エレベーター」は、女性の30歳代(42.7%)が4割台で最も多かった。(図表18-3-2)

図表18-3-2 犯罪被害の不安を感じる場所（複数回答）－地域別、性・年代別

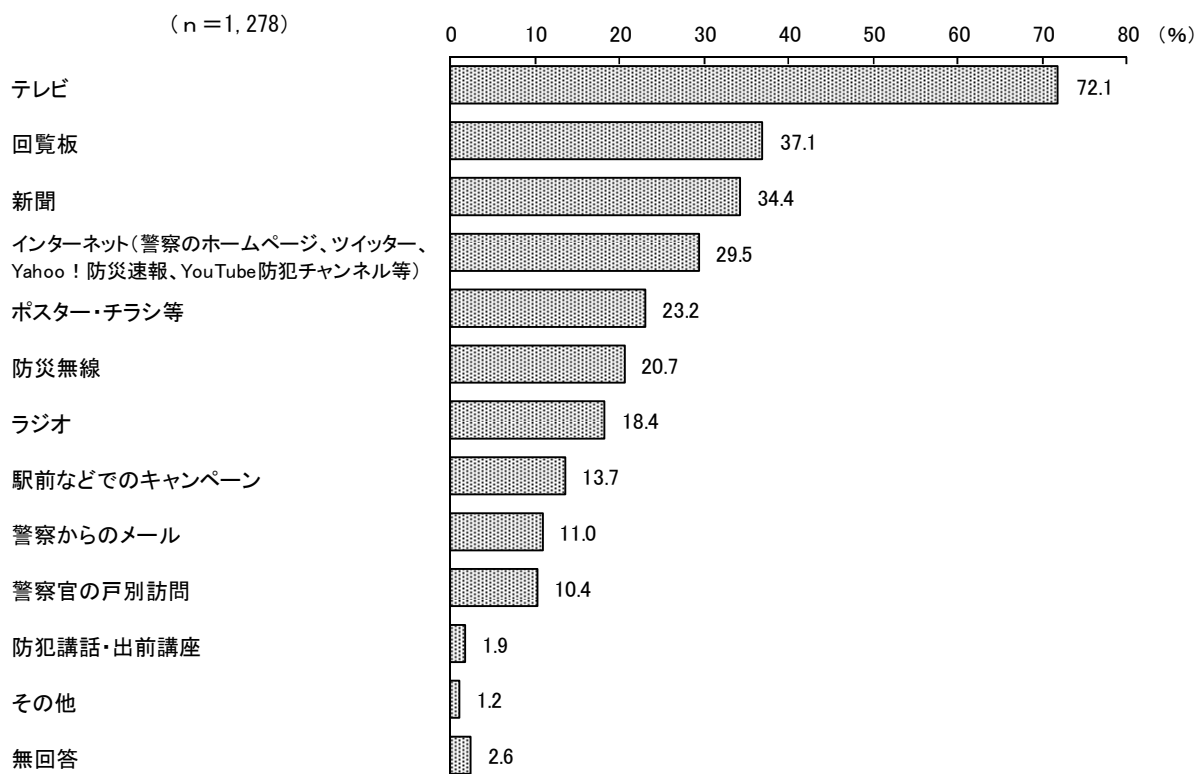
		(%)										
	n	道路	繁華街	駅	電車、バスなどの乗り物の中	エレベーター	公園	駐車場、駐輪場	自宅	その他	特にない	無回答
全体	1,278	58.6	48.2	32.2	29.7	22.1	21.0	19.4	16.9	2.1	9.5	2.8
【地域別】												
横浜	482	59.8	53.3	36.5	32.4	25.9	20.3	17.8	16.4	1.9	8.1	1.9
川崎	179	62.6	52.0	32.4	32.4	21.8	24.6	14.5	17.3	2.8	6.1	1.1
相模原	90	66.7	44.4	31.1	30.0	16.7	18.9	28.9	16.7	2.2	6.7	1.1
横須賀三浦	115	51.3	48.7	22.6	27.0	24.3	19.1	21.7	23.5	3.5	15.7	3.5
県央	111	64.9	43.2	30.6	27.0	17.1	27.9	21.6	20.7	2.7	9.9	0.9
湘南	186	54.8	43.5	33.9	28.0	21.0	22.0	19.9	14.5	1.6	10.2	3.2
県西	54	55.6	33.3	25.9	25.9	16.7	9.3	20.4	14.8	-	16.7	5.6
【性・年代別】												
男性	563	51.3	50.3	30.2	30.7	11.2	15.3	17.2	14.2	2.7	10.7	3.0
女性	675	65.5	47.4	33.6	29.3	32.0	25.9	21.2	19.0	1.8	8.3	1.8
男性18～19歳	3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-
20歳代	31	38.7	48.4	38.7	29.0	16.1	12.9	9.7	19.4	12.9	6.5	-
30歳代	76	59.2	46.1	38.2	28.9	9.2	13.2	18.4	11.8	2.6	11.8	-
40歳代	118	52.5	58.5	32.2	33.1	12.7	15.3	23.7	16.9	3.4	10.2	0.8
50歳代	104	51.0	51.0	34.6	38.5	6.7	13.5	12.5	10.6	2.9	5.8	1.0
60歳代	134	46.3	53.7	25.4	32.8	13.4	18.7	19.4	15.7	0.7	13.4	3.0
70～74歳	51	58.8	52.9	29.4	25.5	9.8	15.7	17.6	13.7	2.0	7.8	9.8
75歳以上	45	51.1	26.7	13.3	13.3	13.3	15.6	8.9	13.3	-	17.8	11.1
女性18～19歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
20歳代	52	67.3	48.1	32.7	46.2	28.8	21.2	19.2	23.1	1.9	3.8	-
30歳代	117	71.8	50.4	35.9	31.6	42.7	34.2	26.5	20.5	3.4	5.1	0.9
40歳代	177	68.4	55.9	40.1	30.5	28.2	30.5	20.3	20.3	1.7	5.6	-
50歳代	120	68.3	51.7	35.0	34.2	30.0	17.5	21.7	14.2	1.7	9.2	1.7
60歳代	108	59.3	44.4	31.5	24.1	34.3	23.1	23.1	18.5	0.9	10.2	3.7
70～74歳	49	57.1	32.7	20.4	22.4	28.6	24.5	24.5	14.3	-	14.3	6.1
75歳以上	51	54.9	21.6	21.6	9.8	27.5	23.5	5.9	23.5	2.0	15.7	3.9

#### 4 犯罪発生情報や防犯に役立つ情報を得やすい方法【問81】

##### 【全体の状況】

地域の犯罪発生情報や防犯に役立つ情報について、情報を得やすい方法を複数回答で尋ねたところ、「テレビ」(72.1%)が7割台で最も多く、「回覧板」(37.1%)と「新聞」(34.4%)が3割台で続いた。(図表18-4-1)

図表18-4-1 犯罪発生情報や防犯に役立つ情報を得やすい方法（複数回答）



##### 【地域別の状況】

地域別にみると、「テレビ」は、県西(75.9%)が7割台で最も多く、次いで川崎(74.9%)が多かった。また、「回覧板」は、県西(55.6%)が5割台で最も多く、次いで横須賀三浦(45.2%)が4割台であった。「新聞」は、県西(48.1%)が約5割で最も多かった。「防災無線」は、県西(44.4%)と湘南(44.1%)がともに4割台で多く、横浜(7.1%)と川崎(6.7%)がともに1割に満たなかった。(図表18-4-2)

##### 【性・年代別の状況】

性別にみると、「回覧板」は、女性(42.8%)が男性(30.4%)を12.4ポイント上回った。

性・年代別にみると、「テレビ」は、サンプル数の少ない男女の18~19歳を除くと、男性の70~74歳(88.2%)、女性の20歳代(84.6%)・60歳代(80.6%)がそれぞれ8割を超えて多かった。「回覧板」は、男女ともに70~74歳(男性66.7%、女性63.3%)が6割台で最も多かった。

(図表18-4-2)

図表18-4-2 犯罪発生情報や防犯に役立つ情報を得やすい方法（複数回答）－地域別、性・年代別

(%)

	n	テレビ	回覧板	新聞	YouTube （警察のホームページ、 防犯チャンネル等）	インターネット （警察のホームページ、 Yahoo!防災速報、 チラシ等）	防災無線	ラジオ	駅前などのキャンペーン	警察からのメール	警察官の戸別訪問	防犯講話・出前講座	その他	無回答
全体	1,278	72.1	37.1	34.4	29.5	23.2	20.7	18.4	13.7	11.0	10.4	1.9	1.2	2.6
【地域別】														
横浜	482	74.1	39.0	36.9	31.1	23.9	7.1	18.7	15.4	8.5	11.0	1.2	0.8	2.3
川崎	179	74.9	21.8	31.8	34.6	26.3	6.7	8.9	18.4	12.8	8.9	1.1	2.2	2.2
相模原	90	67.8	33.3	35.6	34.4	26.7	31.1	24.4	8.9	13.3	7.8	1.1	-	1.1
横須賀三浦	115	71.3	45.2	30.4	24.3	25.2	29.6	21.7	11.3	13.9	13.0	4.3	0.9	2.6
県央	111	73.9	39.6	37.8	27.0	19.8	36.0	21.6	9.0	10.8	9.9	3.6	0.9	0.9
湘南	186	69.9	35.5	28.5	27.4	19.4	44.1	18.3	14.0	11.3	9.7	2.2	2.2	2.2
県西	54	75.9	55.6	48.1	18.5	20.4	44.4	25.9	11.1	16.7	16.7	1.9	-	-
【性・年代別】														
男性	563	74.1	30.4	36.8	33.0	24.3	20.1	21.8	13.3	7.5	11.0	2.3	0.9	2.5
女性	675	71.4	42.8	32.6	27.1	21.9	21.5	15.6	13.6	13.9	9.8	1.5	1.5	1.6
男性18～19歳	3	100.0	-	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-
20歳代	31	67.7	9.7	19.4	45.2	29.0	12.9	12.9	19.4	3.2	3.2	-	3.2	3.2
30歳代	76	65.8	26.3	11.8	57.9	18.4	10.5	14.5	13.2	3.9	3.9	-	1.3	-
40歳代	118	74.6	21.2	22.9	40.7	28.8	18.6	23.7	15.3	12.7	11.9	3.4	0.8	0.8
50歳代	104	69.2	26.9	35.6	33.7	22.1	22.1	23.1	11.5	10.6	6.7	1.0	1.0	1.9
60歳代	134	79.9	32.8	50.0	23.1	28.4	20.1	27.6	14.9	2.2	14.2	3.7	0.7	2.2
70～74歳	51	88.2	66.7	64.7	21.6	29.4	39.2	27.5	11.8	11.8	15.7	5.9	-	2.0
75歳以上	45	68.9	37.8	60.0	6.7	6.7	20.0	8.9	6.7	6.7	22.2	-	-	11.1
女性18～19歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
20歳代	52	84.6	7.7	11.5	42.3	23.1	7.7	7.7	21.2	11.5	1.9	1.9	-	-
30歳代	117	70.1	38.5	17.1	41.0	20.5	16.2	6.8	17.1	15.4	6.0	0.9	2.6	0.9
40歳代	177	67.8	41.8	23.2	41.8	26.0	21.5	16.9	13.6	23.7	9.6	1.1	2.8	-
50歳代	120	62.5	44.2	25.8	21.7	21.7	25.0	12.5	13.3	14.2	7.5	1.7	1.7	1.7
60歳代	108	80.6	52.8	60.2	9.3	20.4	25.9	25.0	8.3	5.6	10.2	2.8	-	3.7
70～74歳	49	71.4	63.3	59.2	6.1	20.4	32.7	20.4	12.2	2.0	16.3	2.0	-	6.1
75歳以上	51	76.5	49.0	54.9	-	15.7	19.6	21.6	11.8	7.8	23.5	-	-	2.0

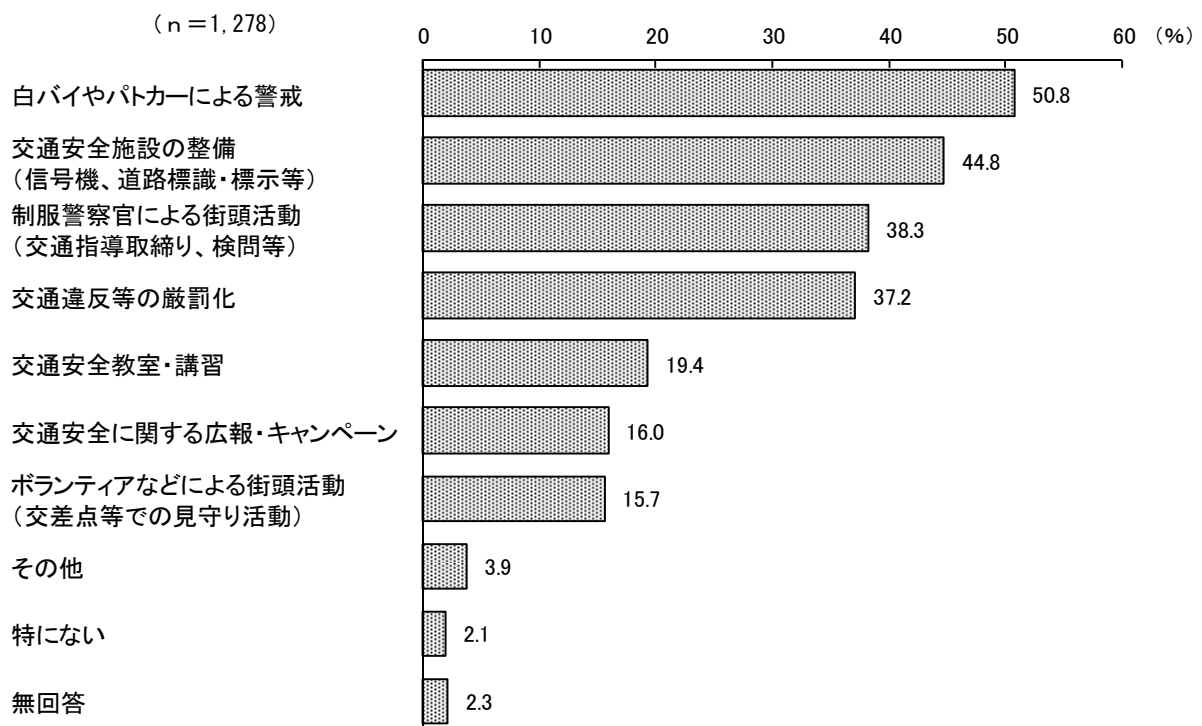


## 5 交通事故のない社会を目指すために重要だと思うもの【問82】

### 【全体の状況】

交通事故のない社会を目指すために重要だと思うものを複数回答（3つまで）で尋ねたところ、「白バイやパトカーによる警戒」（50.8%）が約5割で最も多く、次いで「交通安全施設の整備（信号機、道路標識・標示等）」（44.8%）が4割台であった。（図表18-5-1）

図表18-5-1 交通事故のない社会を目指すために重要だと思うもの（複数回答）



### 【地域別の状況】

地域別にみると、「白バイやパトカーによる警戒」は、相模原（54.4%）が5割台で最も多く、湘南（53.2%）と横須賀三浦（52.2%）が続いた。「交通安全教室・講習」は、県西（31.5%）が約3割で最も多かった。（図表18-5-2）

### 【性・年代別の状況】

性別にみると、「白バイやパトカーによる警戒」は、女性（53.8%）が男性（48.0%）を5.8ポイント上回った。「交通安全に関する広報・キャンペーン」は、男性（18.7%）が女性（13.0%）を5.7ポイント上回った。

性・年代別にみると、「白バイやパトカーによる警戒」は、サンプル数の少ない男女の18～19歳を除くと、女性の30歳代（62.4%）・75歳以上（60.8%）がともに6割を超えて多かった。「制服警察官による街頭活動（交通指導取締り、検問等）」は、女性の75歳以上（54.9%）が5割台で最も多かった。（図表18-5-2）

図表18-5-2 交通事故のない社会を目指すために重要だと思うもの（複数回答）

－地域別、性・年代別

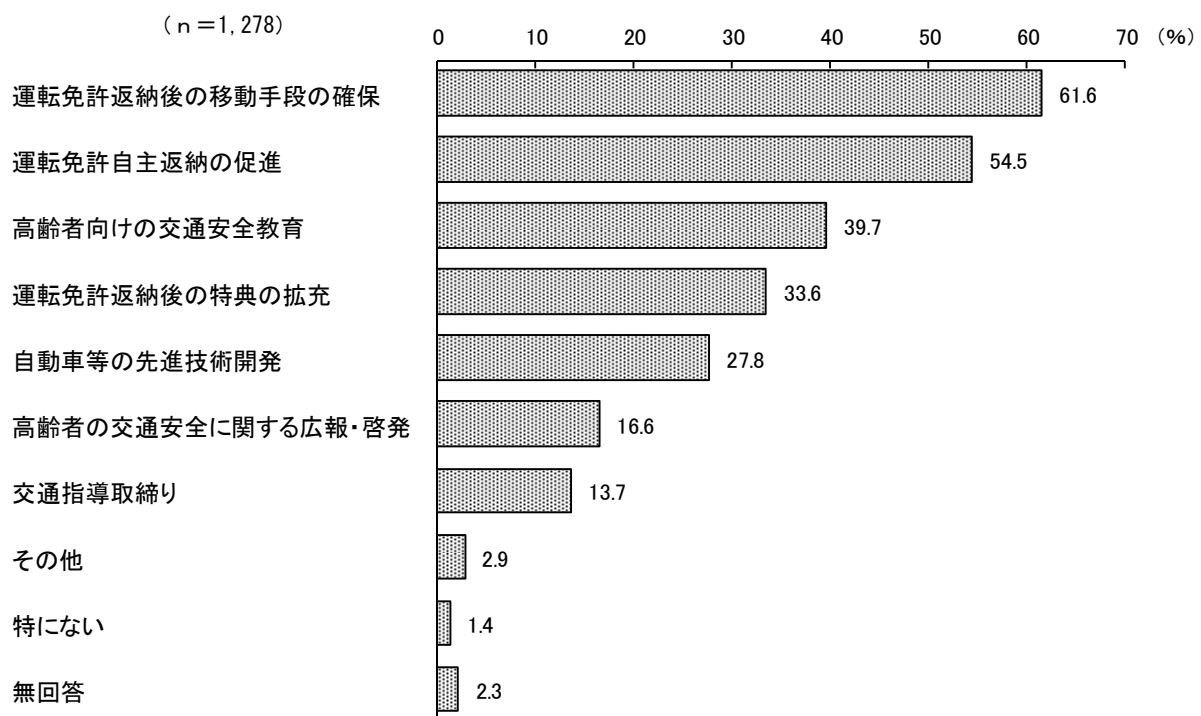
(%)											
	n	白バイやパトカーによる警戒	交通安全施設の整備 (信号機、道路標識・標示等)	制服警察官による街頭活動 (交通指導取締り、検問等)	交通違反等の厳罰化	交通安全教室・講習	交通安全に関する広報・キャンペーン	ボランティアなどによる街頭活動 (交差点等での見守り活動)	その他	特 に な い	無 回 答
全 体	1,278	50.8	44.8	38.3	37.2	19.4	16.0	15.7	3.9	2.1	2.3
【地 域 別】											
横 浜	482	51.0	44.4	38.6	39.2	18.0	14.7	14.7	4.1	3.1	2.1
川 崎	179	49.7	41.9	36.3	42.5	16.2	17.3	16.8	3.9	2.2	1.1
相 模 原	90	54.4	45.6	41.1	33.3	27.8	15.6	16.7	4.4	-	1.1
横 須 賀 三 浦	115	52.2	44.3	40.9	40.9	20.0	18.3	11.3	2.6	1.7	1.7
県 央	111	48.6	51.4	43.2	36.9	16.2	18.9	22.5	3.6	0.9	0.9
湘 南	186	53.2	47.3	35.5	33.9	23.1	14.5	14.5	3.2	2.2	2.2
県 西	54	46.3	50.0	42.6	25.9	31.5	14.8	20.4	5.6	-	1.9
【性・年代別】											
男 性	563	48.0	45.5	36.6	36.1	19.4	18.7	14.2	5.7	2.7	2.1
女 性	675	53.8	44.4	40.0	38.5	19.4	13.0	17.5	2.5	1.6	1.8
男性18～19歳	3	66.7	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	-
20歳代	31	54.8	45.2	35.5	35.5	12.9	9.7	6.5	6.5	3.2	-
30歳代	76	52.6	47.4	31.6	40.8	17.1	10.5	11.8	6.6	1.3	1.3
40歳代	118	52.5	46.6	36.4	37.3	17.8	13.6	16.9	11.9	-	-
50歳代	104	46.2	40.4	30.8	34.6	21.2	20.2	14.4	6.7	5.8	1.0
60歳代	134	46.3	46.3	41.8	41.0	22.4	23.1	13.4	3.0	3.7	3.7
70～74歳	51	47.1	47.1	39.2	29.4	25.5	35.3	11.8	-	3.9	2.0
75歳以上	45	33.3	48.9	44.4	24.4	11.1	17.8	20.0	-	-	8.9
女性18～19歳	1	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
20歳代	52	57.7	46.2	38.5	46.2	15.4	15.4	9.6	1.9	3.8	-
30歳代	117	62.4	47.9	44.4	43.6	17.9	7.7	16.2	1.7	0.9	0.9
40歳代	177	54.8	44.1	33.3	35.6	17.5	12.4	20.9	4.0	1.7	-
50歳代	120	47.5	41.7	37.5	39.2	24.2	8.3	14.2	4.2	0.8	2.5
60歳代	108	47.2	44.4	44.4	38.9	22.2	17.6	15.7	-	1.9	4.6
70～74歳	49	46.9	44.9	36.7	34.7	18.4	20.4	30.6	-	-	4.1
75歳以上	51	60.8	43.1	54.9	29.4	17.6	19.6	15.7	3.9	3.9	2.0

## 6 高齢者の交通事故を抑止するために重要だと思うもの【問83】

### 【全体の状況】

高齢者の交通事故を抑止するために重要だと思うものを複数回答（3つまで）で尋ねたところ、「運転免許返納後の移動手段の確保」（61.6%）が約6割で最も多く、次いで「運転免許自主返納の促進」（54.5%）が5割台となった。（図表18-6-1）

図表18-6-1 高齢者の交通事故を抑止するために重要だと思うもの（複数回答）



### 【地域別の状況】

地域別にみると、「運転免許返納後の移動手段の確保」は、県西（72.2%）と相模原（70.0%）がともに7割以上で多かった。また、「運転免許自主返納の促進」は、川崎（60.3%）と横須賀三浦（60.0%）がともに6割以上で多かった。（図表18-6-2）

### 【性・年代別の状況】

性別にみると、「自動車等の先進技術開発」は、男性（36.4%）が女性（20.6%）を15.8ポイント上回った。「運転免許自主返納の促進」は、女性（60.1%）が男性（49.0%）を11.1ポイント上回った。

性・年代別にみると、「運転免許返納後の移動手段の確保」は、男性の30歳代（75.0%）、女性の20歳代（73.1%）・40歳代（70.6%）・50歳代（72.5%）がそれぞれ7割を超えて多かった。また、「高齢者向けの交通安全教育」は、サンプル数の少ない男女の18～19歳を除くと、男性の70～74歳（52.9%）と女性の75歳以上（52.9%）がともに5割台で多かった。（図表18-6-2）

図表18-6-2 高齢者の交通事故を抑止するために重要だと思うもの（複数回答）

－地域別、性・年代別

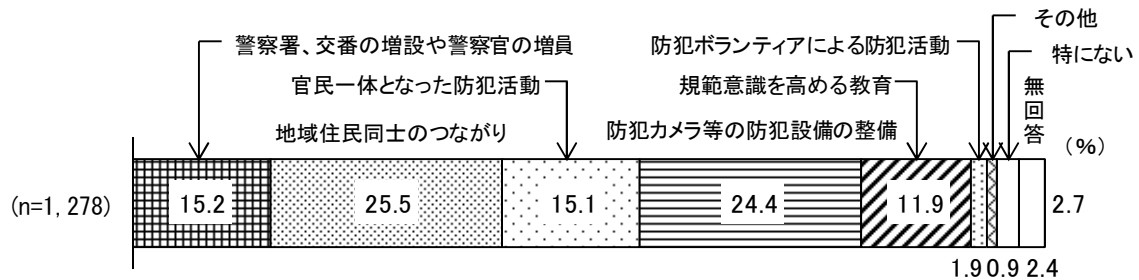
		(%)									
	n	運転免許返納後の移動手段の確保	運転免許自主返納の促進	高齢者向けの交通安全教育	運転免許返納後の特典の拡充	自動車等の先進技術開発	高齢者の交通安全に関する広報・啓発	交通指導取締り	その他	特にない	無回答
全体	1,278	61.6	54.5	39.7	33.6	27.8	16.6	13.7	2.9	1.4	2.3
【地域別】											
横浜	482	62.2	55.2	40.7	34.4	26.1	15.6	16.0	2.7	1.9	2.1
川崎	179	60.9	60.3	34.6	35.2	33.0	15.6	15.1	5.0	1.1	-
相模原	90	70.0	52.2	36.7	38.9	26.7	15.6	13.3	3.3	-	3.3
横須賀三浦	115	60.0	60.0	34.8	39.1	22.6	16.5	9.6	2.6	0.9	2.6
県央	111	53.2	55.9	38.7	33.3	29.7	21.6	11.7	0.9	1.8	1.8
湘南	186	66.7	54.8	43.0	29.0	28.5	16.7	10.8	3.8	1.6	1.6
県西	54	72.2	40.7	48.1	35.2	24.1	18.5	20.4	-	-	-
【性・年代別】											
男性	563	59.9	49.0	39.4	31.3	36.4	17.9	11.9	3.6	2.3	2.0
女性	675	64.3	60.1	39.7	35.4	20.6	15.4	15.1	2.5	0.4	2.1
男性18～19歳	3	-	33.3	66.7	33.3	33.3	-	-	-	-	-
20歳代	31	45.2	41.9	45.2	29.0	32.3	6.5	9.7	9.7	6.5	3.2
30歳代	76	75.0	55.3	31.6	34.2	36.8	11.8	10.5	7.9	-	1.3
40歳代	118	62.7	61.9	32.2	33.1	41.5	10.2	16.9	3.4	0.8	-
50歳代	104	55.8	45.2	48.1	26.0	38.5	18.3	12.5	1.9	2.9	1.0
60歳代	134	66.4	44.8	35.1	36.6	34.3	23.1	10.4	2.2	2.2	3.0
70～74歳	51	47.1	41.2	52.9	27.5	47.1	35.3	5.9	2.0	3.9	2.0
75歳以上	45	46.7	42.2	44.4	24.4	15.6	22.2	13.3	2.2	2.2	6.7
女性18～19歳	1	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
20歳代	52	73.1	67.3	42.3	46.2	9.6	11.5	13.5	1.9	-	-
30歳代	117	68.4	60.7	38.5	43.6	19.7	10.3	19.7	4.3	-	0.9
40歳代	177	70.6	67.2	40.7	33.9	18.1	13.0	14.1	2.8	0.6	0.6
50歳代	120	72.5	53.3	31.7	40.0	26.7	11.7	12.5	3.3	0.8	2.5
60歳代	108	60.2	51.9	38.0	33.3	25.0	20.4	14.8	1.9	-	2.8
70～74歳	49	46.9	61.2	44.9	22.4	26.5	24.5	10.2	-	-	6.1
75歳以上	51	31.4	58.8	52.9	17.6	13.7	29.4	21.6	-	2.0	5.9

## 7 安心して暮らすために最も重要だと思うもの【問84】

### 【全体の状況】

犯罪や交通事故がなく、より安心して暮らすために最も重要だと思うものを尋ねたところ、「地域住民同士のつながり」(25.5%)と「防犯カメラ等の防犯設備の整備」(24.4%)がともに2割台であった。(図表18-2-1)

図表18-2-1 安心して暮らすために最も重要だと思うもの



### 【地域別の状況】

地域別にみると、「地域住民同士のつながり」は、県西(38.9%)が約4割で最も多かった。また、「防犯カメラ等の防犯設備の整備」は、県央(30.6%)が約3割で最も多く、次いで横浜(25.5%)が2割台で多かった。(図表18-2-2)

### 【性・年代別の状況】

性・年代別にみると、「地域住民同士のつながり」は、女性の70～74歳(36.7%)が3割台で最も多かった。また、「防犯カメラ等の防犯設備の整備」は、サンプル数の少ない男女の18～19歳を除くと、男性の60歳代(33.6%)と女性の75歳以上(31.4%)がともに3割を超えた。(図表18-2-2)

図表18-2-2 安心して暮らすために重要だと思うもの—地域別、性・年代別

